

平成29年広島県食中毒発生状況(広島県合計)

病因物質	総数		集団		散発	
	事件	患者	事件	患者	事件	患者
ノロウイルス	7	332	6	327	1	5
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	8	48	3	31	5	17
黄色ブドウ球菌	3	49	3	49		
腸炎ビブリオ						
サルモネラ属菌	2	49	1	48	1	1
ウエルシュ菌						
腸管出血性大腸菌						
その他の病原大腸菌						
動物性自然毒	2	3			2	3
植物性自然毒	1	8	1	8		
寄生虫	2	23	1	22	1	1
その他						
不明(調査中を含む)	1	3			1	3
合計	26	515	15	485	11	30

※ノロウイルスによる食中毒は、秋から春先にかけて多く発生します。
調理前やトイレの後には十分な手洗いを行い、体調不良時には調理に従事しないことが大切です。